

# ペットライフ



犬や猫は、家族や人生のパートナーとして私たちに幸せや癒やしを与えてくれる大切な存在です。一方で、ペットが原因で起こる近隣トラブルや犬にかまれる事故などの問題があります。犬や猫と幸せな生活を送るために守るべきルールやマナーを、改めて考えてみましょう。

☎生活環境課環境係(南別館1階) ☎72-2111



## 犬の飼い方チェックシート

### ✓ 放し飼いをしない

犬を放して飼うことは、法律で禁止されています。大きな音に驚いて行方不明になったり、交通事故や周りの人にかみつくなど、事故の原因になったりします。

### ✓ 散歩のマナーを守る

リードを必ず付け、犬を制御できる人が散歩を行いましょう。長すぎるリードでの散歩は、交通事故やかみつき事故につながり危険です。

また、フンを入れる袋と、尿を洗い流すための水を持ち歩き、後片付けをしましょう。



### ✓ 周辺地域の住民や環境への配慮

鳴き声や排せつ物を放置せず、適切なしつけ・訓練を行い、地域住民に迷惑をかけないように気を付けましょう。

### ✓ 災害への備え

市内全ての避難所はペットと一緒に避難できます。避難中のペットはケージの中で過ごすため、日頃からケージに慣れさせておきましょう。



### ✓ 飼い犬の特性を知る

犬種に応じて「生理」「生態」「習慣」が異なります。健康・安全面に気を配り、正しい知識を身に付けましょう。



## 犬を飼うときに必要なこと

飼い犬には、市への登録と年1回の狂犬病予防注射が義務づけられています。

### 🐾 市への登録

以下のいずれかの方法で登録してください。

- マイクロチップ情報登録
- 窓口で申請書を提出(手数料1頭3,000円)

マイクロチップ情報登録に関しては、環境省データベースをご覧ください。



### 🐾 狂犬病予防注射

以下のいずれかの方法で接種してください。

- 市が毎年4月・5月に実施している「集団注射」
- 動物病院で受ける「個別注射」

3月下旬にはがきで案内



ワン/ダフルな毎日を





# 共に生きる



## 地域猫活動のしくみ

### 地域猫活動とは

飼い主がない猫を、地域住民が「地域の猫」として管理することで、望まれずに生まれる猫をなくし、猫による悪化した環境を改善していくための取組です。

地域猫活動では、猫の問題ではなく地域の環境問題として捉え、地域住民の理解と協力のもと取り組むことが大切です。

### 活動内容

#### ● 捕獲・手術

市とボランティア、活動団体が協力して捕獲し、不妊・去勢手術を行います。

- 効果** ◆猫の増加を防ぐ
- ◆発情期のさかり(騒音など)の軽減

#### ● フンや尿の処理・清掃

猫を管理する場所を決め、猫用トイレを設置します。

- 効果** ◆庭・花壇荒らし、悪臭などの軽減

#### ● 適切な餌やり

決まった場所・時間で猫が1回で食べきれぬ量をあげます。

- ポイント** 置き餌はせず、食べ終わったら残った餌をすぐに片付ける



## 猫と4つの約束

### ①室内で飼う

交通事故や争いによるけが、感染症などの危険から守りましょう。また、フン・尿やごみを荒らす、鳴き声などによる周囲への被害の軽減にもつながります。

### ②首輪や迷子札をつける

室内飼いでも、窓やドアから逃げ出してしまうことがあります。一目で飼い主がいることが分かるようにしましょう。



### ③不妊・去勢手術をする

雌猫は1年に2～4回、1回に1～8頭を出産します。出産を望まない場合は手術をしましょう。



### ④病気の知識と予防

猫から人に感染する病気は複数あります。飼い主が感染症に関する知識を深め、予防することが大切です。



## 猫に関する市の取組

人と猫が幸せに生活するため、市は2つの取組を行っています。

### ● 地域猫活動のサポート

地域猫活動で行う不妊・去勢手術にかかる費用を負担しています。



### ● 猫被害軽減機の貸出

猫のフン・尿にお困りの人へ、猫が嫌う音を出す機械を2週間無料で貸し出しています。  
※1世帯1回まで



ニャン／てすてきな生活

